

令和 6 年度 事務事業マネジメントシート

作成日 令和 6 年 7 月 1 日作成

事務事業名		やっちくふるさと村維持管理事業					担当課		(松)産業建設課					(3)指標の推移		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度			
							担当G		産業建設グループ					活動指標（実施状況）		単位	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)		
							会計	款	項	目	備考	(実績)	(実績)				(実績)							
まちづくりプラン（基本目標）		振興計画体系	3	<産業経済>大地の力と海の恵みを生かした魅力あふれるにぎわいのまち					予算科目	1	6	1	2	176000	ア	指定管理料の額	千円	7,073 34,218	7,000 25,922	7,000 7,000	7,000 7,000	7,000 7,000	7,000 7,000	
(個別目標)		計画体系	4	地域資源を生かした観光のまち					主な費目	委託料					イ									
(施策)		総合戦略	1	観光資源の整備、活用					対象	指定管理施設 やっちくふるさと村					成果指標（成果・効果）		単位	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	
(基本目標)			4	魅力的で、安心して暮らせるまちをつくる											ア	施設内での事故件数	件	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	
(施策)			5	観光パワーアッププロジェクト											事業期間	3 7	年度～ 年度（5年間）		イ	施設に関する苦情件数	件	0 0	0 0	0 0
(1)総事業費の推移			単位	3年度 (実績・決算)		4年度 (実績・決算)		5年度 (実績・決算)		6年度 (計画・予算)		7年度 (計画・予算)		8年度 (計画・予算)		(4)評価		所管課による評価						
年間トータルコスト	事業費	財源内訳	国県支出金	千円											有効性評価	・市民のニーズ ・事業の効果 ・政策との整合性 ・事業を廃止の影響 ・類似事業との連携 ・公平性	施設の維持管理を一括して委託することで、効率的かつ迅速な対応ができ、事業廃止となると管理費用の増大が懸念されることと、道の駅としての機能低下を招く。							
		その他特定財源	千円	34,451																				
	一般財源	千円	111	27,844	7,473	7,581	7,581	7,581																
	事業費計(A)	千円	34,562	27,844	7,473	7,581	7,581	7,581																
	所要人員(年間)	人	1,000	1,000	0,200	0,200	0,200	0,200																
	人件費概算(B)	千円	5,600	5,600	1,120	1,120	1,120	1,120																
	(A) + (B)	千円	40,162	33,444	8,593	8,701	8,701	8,701																
(2)事業概要																								
事業目的	本施設は国土交通省の道の駅としての機能を有しているため、365日、24時間利用可能とするため、指定管理により施設の維持管理を																効率性評価	・事業効果向上 ・事業費削減 ・事務の効率化 ・費用対効果 ・財政負担の必要性 ・関係者との連携	公園・施設管理などを一体的に委託するため、事務効率、事業費の両方ともに効率化が図れる。					
事業内容	敷地内施設（やっちくふるさと館、宿泊施設、ふれあい公園等）の管理運営を行う事業である。																							
開始経緯	やっちくふるさと村（やっちくふるさと館、宿泊施設、ふれあい公園等）の管理運営を行う事業である。本施設は、平成8年度から平成10年度にかけて、農水省の補助事業により整備され、第3セクター方式で管理を行ってきた。平成18年9月から指定管理者制度に移行し、公募により選定された㈱フォックスカンパニー（指定期間：R3.4～R8.3）が施設の維持管理と自主事業を行っている。																達成度評価	・数値目標 ・目指す状況 ・実現性 ・情勢、環境の変化 ・事業期間	指定管理施設の維持管理については、適切に管理されており特に問題はない。 新型コロナウイルス感染症などの影響により自主事業が思うように展開出来ない状況下であるが、継続して施設運営してくれている。					
実施状況	協定書により、施設の維持管理・修繕等を指定管理者へ委託することで、施設の適正な維持管理がなされている。																							
成果	道の駅の機能としては、停滞させることなく施設利用者に提供出来ている。 施設の維持管理も契約どおり遂行されている。																改革改善案	拡充	○	現状維持	改善	効率化	廃止終了	
課題	経年劣化による施設の修繕費等の増加が懸念される。 新型コロナウイルス感染症の影響で、自主営業部門（レストラン部門）を閉鎖している。新たにスイーツ等を食べられるイートインスペースを確保し、集客を図っているが、未だ人手不足や物価高騰で経営的に厳しい状況が続いており、再開には相応の時間を要する。																	施設の経年劣化が激しくなっているため、外装工事などにより修繕費、又は指定管理料の増加を防ぐ。						